

ティヤポ・ハドソン・ングィサニ・ボツワナ地球科学機構(BGI)所長への  
旭日中綬章伝達式

2021年1月26日  
在ボツワナ日本国大使館

1月26日、在ボツワナ日本国大使館はティヤポ・ハドソン・ングィサニ・ボツワナ地球科学機構(BGI)所長への旭日中綬章の伝達式を執り行いました。

当館藤野参事官からの歓迎の挨拶に続き、受章者であるングィサニ所長、そして、ゲストとして参加いただいたレフォコ・マクスウェル・モアヒ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣から挨拶をいただきました。また、本式典にはモツォプツェ・モディシ BGI 理事長及びングィサニ所長夫人も参加しました。

藤野参事官から、2020年4月に日本政府がングィサニ所長に対し、旭日中綬章を授与する旨発表したこと、同章は外国籍者が日本政府から授与される章のうちで最も権威あるものの一つであると紹介しました。同参事官はさらに、鉱物資源分野における技術移転、学術交流及び相互理解の促進を通じ、ングィサニ所長が長年にわたり、日本とボツワナ、さらに日本と南部アフリカ地域の関係構築及び強化に貢献してきたと述べました。

続いてングィサニ所長は、日本政府に対し、受章に対する謝意を述べるとともに、BGI、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)ボツワナ・地質リモートセンシングセンター、鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障省、南部アフリカ共同体(SADC)各国の地質調査機関からの多大な支援に対し、謝意を表しました。同所長はさらに、JOGMEC と共に SADC 諸国に対する技術移転を支援するために設立されたボツワナ・地質リモートセンシングセンター(GRSC)が、SADC 諸国の間に、繋がり、協力及び連携を生み出したと述べました。また同氏は、GRSC は今後も維持されなければならない、さらに、将来的には GRSC がリモートセンシング地理情報システムの中核拠点となり得る可能性に言及しました。

最後に、モアヒ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣は、本受章は、ングィサニ所長率いる BGI 及び JOGMEC によるリーダーシップの下、BGI によって育まれた14年にわたる協力関係の象徴であると賞賛しました。また、同大臣は、ボツワナ及び SADC 地域におけるリモートセンシング技術移転における JOGMEC との協力の

成果及び活動に触れ、ボツワナ及び世界が、鉱物資源の潜在性を最大化するための努力をしている中で、この協力関係は引き続き維持され、支援されなければならないと述べました。同大臣はさらに、本勲章はングィサニ所長の個人の受章であるが、同所長のチーム、旧地質調査局及び BGI 全所員による努力の賜であり、ボツワナの受章であると述べました。終わりに、同大臣は、ングィサニ所長及び同所長の同僚に対し、「地球科学における卓越性 (Excellence in Geoscience)」という BGI の理念に裏付けられるように、引き続き努力してほしいと述べました。

鉱物資源分野において、JOGMEC は2008年の GRSC の開設以来、人材協力事業を通じ、ボツワナだけでなく、南部アフリカ地域に貢献してきました。JOGMEC の尽力のおかげで、近い将来鉱物資源の現地調査がボツワナ及び他の SADC 諸国で実現することが期待されています。

本叙勲は、日本・ボツワナ関係の重要性を示しており、二国間関係の強化をさらに促進することが期待されます。



藤野参事官による勲記読み上げ



ンギサニ所長によるスピーチ



モアヒ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣によるスピーチ



左から、藤野参事官、ングィサニ所長、モアヒ大臣